

令和元年度新里紫桐会居宅介護支援事業所事業報告書

事業所は、利用者が在宅において可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じ、利用者自らの選択に基づき適切なサービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮しました。また、利用者とその家族との深い信頼関係を構築するとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、提供されるサービス等が特定の種類又は居宅サービス事業者に偏ることのないよう、公正中立に努めました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

居宅介護支援

在宅介護支援センター

(2) 事業規模

居宅介護支援 : 要介護者ケアプラン 57名

2 事業の実施状況

(1) 居宅介護サービス計画の支援

- ① 利用者の居宅を訪問し、利用者及び家族に面談して情報収集を行い、解決すべき課題の把握（アセスメント）に努めました。
- ② 指定居宅サービス事業所等に関するサービス内容、利用料等の情報を提供し、サービスの選択をしていただきました。
- ③ 利用者の目標とする生活に対し、提供されるサービスの内容、その達成時期、サービスを提供する上での留意点を盛り込んだ居宅サービス計画の原案作成を行い、説明と同意をいただきました。

(2) 経過観察・再評価

- ① 毎月の訪問で経過観察（モニタリング）を行い記録しました。定期的な評価を行い、状態の変化に応じて居宅サービス計画変更、要介護区分変更申請等必要な支援を行いました。

(3) 個人情報保護・秘密保持

- ① サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等で予め文書による個人情報の取扱いを説明し、個人情報の保護及び秘密保持を徹底しました。

(4) 連携・調整

- ① サービス担当者会議において、地域の保健・医療・サービス提供事業者等各関係機関との連携を図り、より良いサービスの提供に努めました。
- ② 利用者の入退院時には情報共有シートを活用し、医療とのスムーズな連携に努めました。
- ③ 居宅サービス計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう、指定居宅介護事業所等との連絡調整を図りました。

(5) 給付管理

- ① サービス計画の内容に基づき毎月給付管理票を作成し、岩手県国民健康保険団体連合会に提出しました。

(6) 職員研修

- ① 職員の資質向上を図るため、法人で実施した内部研修会及び外部で開催された各種研修会に

参加し自己研鑽に努めました。

区分	開催数	延べ参加人数
各種外部研修会	8	13
法人内部研修会	6	6
ケアマネジメント部会（宮古市）	5	10

(7) その他

- ① 介護保険施設等への入所を希望した場合は、介護保険施設等への紹介、その他の支援を行いました。
- ② 研修会等へ参加し、ケアマネジメントの充実と質の向上に努めました。
- ③ 台風等の自然災害時には、利用者の安否確認に努めました。
- ④ 事業所内で情報を共有し、利用者への継続した支援ができるよう努めました。

3 利用者の状況

(1) ケアプラン作成件数

	登録者数	ケアプラン作成数	介護予防プラン作成数
4月	45	45	9
5月	45	45	6
6月	45	45	6
7月	43	43	6
8月	45	45	6
9月	46	46	6
10月	45	45	6
11月	46	46	3
12月	49	49	3
1月	47	47	3
2月	47	46	4
3月	46	46	3
計	549	549	61

(2) 認定調査件数

	更新	区分変更	計
要介護	41	1	42
要支援	0	0	0
計	41	1	42

令和元年度在宅介護支援センター事業報告書

要介護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者や家族を対象に、その福祉の向上を図るため要援護高齢者の実態把握に努めました。その上で地域の高齢者やその家族からの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業所等との連絡調整を行い支援しました。

1 事業の概況

在宅介護支援センター

2 事業の実施状況

(1) 総合相談支援事業

- ① 来所・訪問等による初期相談支援のほか、必要に応じ継続的相談支援を行い、相談受付票を用い記録を整備しました。
- ② 本人・家族・近隣住民・地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受けて的確な状況把握を行いました。専門的・継続的な関与又は緊急の対応が必要と判断した場合には、詳細な情報収集を行い、課題を明確にして個別の支援を行いました。
- ③ 福祉用具および介護用品の展示や紹介を行いました。

(2) 日常の連絡調整

- ① 利用者、サービス提供事業者等の連絡に随時対応し、必要に応じて宮古市地域包括支援センターに報告しました。

(3) 実態把握調査

- ① 要援護高齢者等の基礎的事項、サービス利用状況、相談内容等の実態把握を行いました。なお、要介護認定者についても毎年1回は実態把握調査を行いました。

(4) 巡回相談会等の開催

- ① 地域に出向いて、その地域に潜在している困りごとを掘り起こし相談支援を行いました。
- ② 担当地区内に被災者が居住している場合には、被災者の参加にも配慮して開催しました。

(5) 配食サービス

- ① 調理が困難な独居及び高齢者世帯等もしくは心身の障がいや傷病者等に対し、食事を提供するとともに、当該利用者の安否確認を行うことにより、地域社会の中で引き続き生活して行くことを支援し、高齢者の保健福祉の向上を図るよう努めました。
- ② 衛生管理に十分注意を払い、事故のないよう努めました。

3 年間実績報告

(1) 相談件数

相談経路別件数		相談方法別件数	
家 族	57	電 話	75
本 人	29	訪 問	35
関係機関	40	来 所	23
民生委員	0	文 書	0
そ の 他	8	そ の 他	1
計	134	計	134

(2) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	23	状 況 把 握	17
医療に関する相談	15	諸制度に関する相談	2
介護保険に関する相談	52	苦情に関する相談	0
高齢福祉サービスに関する相談	2	健康づくり保健事業に関する相談	0
施設入所に関する相談	5	財産・土地住宅に関する相談	0
福祉用具に関する相談	0	そ の 他	18
住宅改修に関する相談	0	計	134

(3) 実態把握調査件数

種別	件数
要介護者・要支援者	124
事業対象者	10
計	134

(4) 巡回相談状況

事業名	会場	内容	回数・人数
かだってカフェ	桐の花地域交流スペース	認知症にやさしい地域作り	4回・79人

(5) 配食状況

延べ登録者数	延べ配食数
22人	349食